

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201030100	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	学校給食運営事業	予算事業名	学校給食運営事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	坂本 浩宣
取組み事項		学校給食の充実と食育の推進を図る		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		学校給食食育推進事業		学校給食運営事業	
根拠法規及び関連法規		学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第百六十号)			
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者			
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減			
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成			

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	給食実施回数	回	186	183	183	188

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	8.228	8.204	100	6.571	80	6.128	93	
	臨時職員	22.172	27.630	125	21.308	77	23.117	108	
支出内訳	人件費	117,987,037	131,327,552	111	105,410,867	80	112,753,166	107	
	事業費	126,598,242	123,143,606	97	128,259,995	104	126,113,000	98	
	合計	244,585,279	254,471,158	104	233,670,862	92	238,866,166	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	97,500	-	60,000	62	
	一般財源	244,585,279	254,471,158	104	233,573,362	92	238,806,166	102	
合計	244,585,279	254,471,158	104	233,670,862	92	238,866,166	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食喫食者数							
指標説明(式)		給食喫食園児・児童・生徒数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2580	2439	94.5	2490	102.1	2453	98.5	
	実績	2580	2375	92.1	2594	109.2			
指標名2		給食無料化による経費							
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	98468207	102072886	103.7	107392113	105.2			

【効率性】

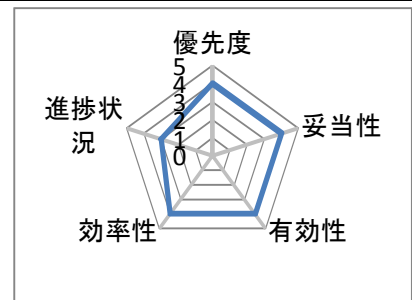
指標名1		給食の実施割合							
指標説明(式)		給食実施日数÷授業日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.96	92.96	100.0	91.5	98.4	93.5	102.2	
	実績	93.47	91.96	98.4	91.96	100.0			
指標名2		新メニュー導入数							
指標説明(式)		給食へ新メニューを導入した品目数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
品	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	15	15	100.0	21	140.0			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地産地消を推進し、西播磨地域及び県内生産の食材を多く取り入れるなど、安心、安全で健康的な給食が実施できた。	4
	市民サービス	平成23年9月から始まった幼稚園給食を、平成24年度は5月から実施し、園児の健全育成を推進した。小学校が、代休でなく遠足等行事で給食が無い日には、幼稚園・中学校給食を実施した。	
効率性	執行体制の効率性	配送車等備品を充実し、運搬ルート及び配送時間の見直しをすることで、給食調理・配送体制の強化を図った。	4
	手段の最適性	学校間の調理方法等を、給食部会に各校が調理した給食1品を持ち寄り、調理方法や味付けについて他校の調理と自校の調理を比較し、味・調理方法の統一化に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性の改善として導入予定の給食管理ソフトが予算化できておらず、計画よりやや遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	メニューの標準化及び適正な食数及び給食業務の管理に加え、増加する食物アレルギー対応を確実にを行うためにも、給食管理ソフトの早期導入



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	相生市の給食管理に最適で、簡便な操作で効率よく作業できるソフトの選定を、近隣の給食施設のソフト導入状況を調査し、検討課題とすること

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201040100	事業の種類	5
年度	28	事務事業名	学校支援地域本部事業	予算事業名	学校支援地域本部事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	優先度
施策名(中)	家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	番匠 真由美	担当者名
取組み事項	家庭・地域・学校の連携を深める		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒			
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	実施小中学校数	学校数	10	10	10	10
	ボランティア登録者数	人	1009	757	667	700

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.080	67	0.064	80	0.060	94	
	臨時職員	0.480	0.412	86	0.600	146	0.600	100	
支出内訳	人件費	2,454,693	1,981,642	81	2,394,866	121	2,466,393	103	
	事業費	202,600	198,287	98	234,900	118	252,000	107	
	合計	2,657,293	2,179,929	82	2,629,766	121	2,718,393	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	459,000	456,000	99	496,000	109	495,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,198,293	1,723,929	78	2,133,766	124	2,223,393	104	
合計	2,657,293	2,179,929	82	2,629,766	121	2,718,393	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施小中学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	950	1000	105.3	800	80.0	700	87.5	
	実績	1009	757	75.0	667	88.1			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	260678	279041	107.0	269495	96.6	271839	100.9	
	実績	265729	217992	82.0	262976	120.6			

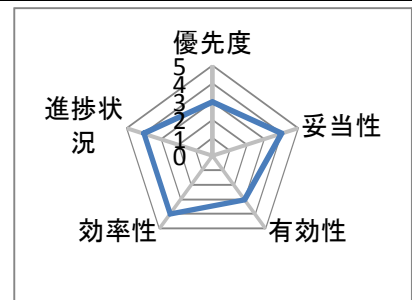
指標名2		登録ボランティア一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2744	2790	101.7	3368	120.7	3883	115.3	
	実績	2633	2879	109.3	3942	136.9			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録ボランティアは年々減っている。	3
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることにより、地域の教育力を活性化することができる。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010100		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正		担当者名	坪田泰典
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	対象人員	人	20	11	16	28		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.094	112	0.094	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,009,365	973,742	96	1,056,716	109	1,073,593	102	
	事業費	485,959	324,968	67	344,086	106	1,005,000	292	
	合計	1,495,324	1,298,710	87	1,400,802	108	2,078,593	148	
財源内訳	国庫支出金		162,000	-	172,000	106	502,000	292	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,495,324	1,136,710	76	1,228,802	108	1,576,593	128	
合計	1,495,324	1,298,710	87	1,400,802	108	2,078,593	148		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

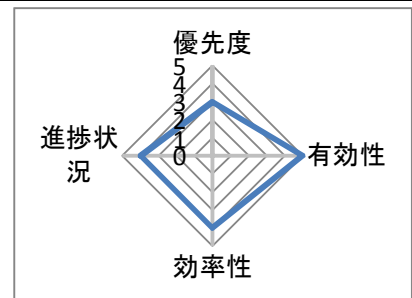
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者についても、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	対象人員	人	10	6	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.094	112	0.094	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,009,365	973,742	96	1,056,716	109	1,073,593	102	
	事業費	341,750	311,487	91	229,145	74	331,000	144	
	合計	1,351,115	1,285,229	95	1,285,861	100	1,404,593	109	
財源内訳	国庫支出金		156,000	-	114,000	73	165,000	145	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,351,115	1,129,229	84	1,171,861	104	1,239,593	106	
合計	1,351,115	1,285,229	95	1,285,861	100	1,404,593	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

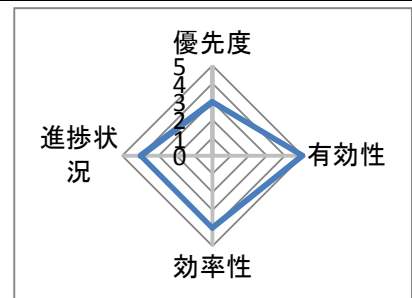
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	普通学級の補助対象者についても、学校及び学校教育課と連携し情報の把握に努めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を速やかに各学校及び補助対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010300	事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	指定教育等研究研修事業	予算事業名	指定教育等研究研修事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	北本 洋志
取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		指定教育等研究研修事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭				
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。障害児用・教師用教科書図書を補充する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学校児童・生徒、障害児の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	研修会	回	82	84	85	82
	参加人数	人	4182	4204	4293	4200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.136	97	0.136	100	0.136	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,472,413	1,393,034	95	1,404,470	101	1,438,621	102	
	事業費	146,564	8,551,055	5,834	5,545,709	65	929,000	17	
	合計	1,618,977	9,944,089	614	6,950,179	70	2,367,621	34	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,618,977	9,944,089	614	6,950,179	70	2,367,621	34	
合計	1,618,977	9,944,089	614	6,950,179	70	2,367,621	34		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修会1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		参加述べ人数/実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	51	55	107.8	60	109.1	60	100.0	
	実績	51	51	100.0	51	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		研修会1回当りのコスト							
指標説明(式)		決算額÷研修回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11000	11000	100.0	11000	100.0		0.0	
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な研修の実施により教職員の資質向上に有効であった。	3
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	3
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

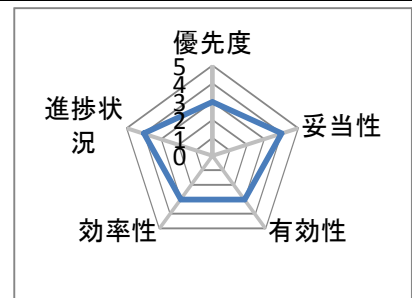
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	計画的に見直しを行い、有効な事業を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	教職員の資質向上につながる研修を精査し、ニーズに合った研修を進める。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3	
年度	28	事務事業名	小学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		教育用パソコン更新					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピューター、インターネット維持管理。また、学校図書館充実事業委託が見直しにより本事業に加わった。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校	7	7	7	7	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.260	0.248	95	0.216	87	0.216	100	
	臨時職員	0.180	0.184	102	7.132	3,876	7.663	107	
支出内訳	人件費	2,810,413	2,664,286	95	20,569,110	772	23,256,240	113	
	事業費	23,117,963	28,524,995	123	29,110,210	102	38,255,000	131	
	合計	25,928,376	31,189,281	120	49,679,320	159	61,511,240	124	
財源内訳	国庫支出金			-	444,000	-	350,000	79	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	25,928,376	31,189,281	120	49,235,320	158	61,161,240	124	
合計	25,928,376	31,189,281	120	49,679,320	159	61,511,240	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者勤務日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標		120	-	120	100.0	120	100.0	
	実績	95	111	116.8	123	110.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育において適正に、予算の配分及び執行が行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

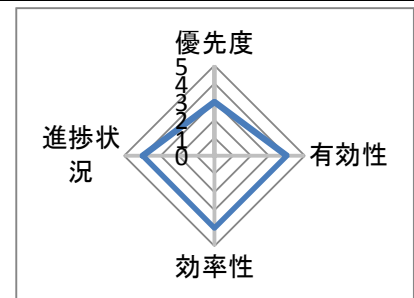
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市立図書館等の関係機関との連携体制の強化を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市立図書館司書と学校図書館活性化事業推進協議会との連絡会議を開催する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出、コンピューター、インターネット維持管理。また、学校図書館充実事業委託が見直しにより本事業に加わった。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	学校図書館従事者配置校数	校	3	3	3	3		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.148	82	0.148	100	
	臨時職員	0.180	0.180	100	1.134	630	0.740	65	
支出内訳	人件費	2,190,573	2,145,434	98	4,419,944	206	3,549,253	80	
	事業費	10,440,276	10,753,979	103	16,386,347	152	19,484,000	119	
	合計	12,630,849	12,899,413	102	20,806,291	161	23,033,253	111	
財源内訳	国庫支出金			-	553,000	-	600,000	108	
	県支出金			-	188,000	-	237,000	126	
	市債			-		-		-	
	その他			-	222,540	-	237,000	106	
	一般財源	12,630,849	12,899,413	102	19,842,751	154	21,959,253	111	
	合計	12,630,849	12,899,413	102	20,806,291	161	23,033,253	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標		40	-	40	100.0	40	100.0	
	実績	36	37	102.8	30	81.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	3
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

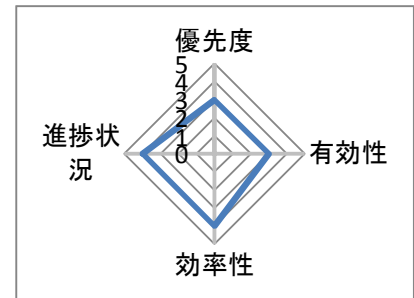
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市立図書館等の関係機関との連携体制の強化を要する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	市立図書館司書と学校図書館活性化事業推進協議会との連絡会議を開催する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		予算事業名	外国人英語指導助手招致事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	実施日数	日	226	225	226	225		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.336	0.324	96	0.292	90	0.292	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	3,059,061	2,870,182	94	2,652,926	92	2,748,553	104	
	事業費	4,908,980	5,042,006	103	4,594,366	91	5,839,000	127	
	合計	7,968,041	7,912,188	99	7,247,292	92	8,587,553	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,968,041	7,912,188	99	7,247,292	92	8,587,553	118	
合計	7,968,041	7,912,188	99	7,247,292	92	8,587,553	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標	225	225	100.0	225	100.0	225	100.0	
	実績	226	225	99.6	226	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

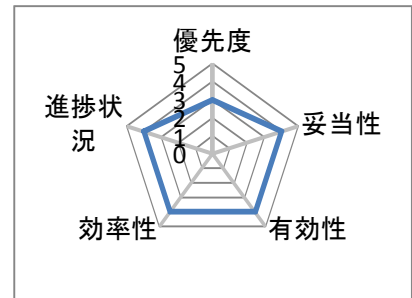
指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8408	8579	102.0	8563	99.8	9403	109.8	
	実績	6915	7616	110.1	7398	97.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施でき、外国人とのコミュニケーションの抵抗感が軽減された。	4
	市民サービス	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。学び塾の講師参加により、小学生から英語への興味関心を高めることができた。	
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手によるネイティブの英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	外国人英語指導助手による英語活動の機会を増やし、生徒の英語力の向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による英語活動の機会を有効に行うなど、効率的な活用を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011300	事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業	予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	
取組み事項		確かな学力の定着を図る		担当者名	木本 博子	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取り組みを推進する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年 国語・算数、中学校1、2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取り組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	対象者数	人	662	662	879	863

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.252	0.248	98	0.248	100	0.248	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,330,469	2,220,942	95	2,237,962	101	2,312,345	103	
	事業費	625,536	711,724	114	959,040	135	910,000	95	
	合計	2,956,005	2,932,666	99	3,197,002	109	3,222,345	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,956,005	2,932,666	99	3,197,002	109	3,222,345	101	
合計	2,956,005	2,932,666	99	3,197,002	109	3,222,345	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当りのコスト							
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標	662	674	101.8	1361	201.9	1054	77.4	
	実績	945	1075	113.8	1091	101.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

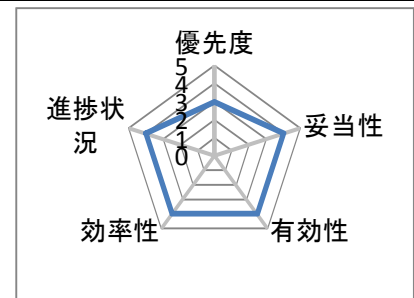
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図ることに努めた	4
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況に応じた学力向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	実施額年ごとの課題をとらえ、よりゆこうな学力向上の取組を推進する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011800		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	英語教育推進事業		予算事業名		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼児期から小・中学校まで、発達段階に応じた英語教育を充実し、英語のよるコミュニケーション能力を養う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		英語教育の専門家の監修やアドバイスを受けながら、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じた体系的な取り組みを推進する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	FLT勤務日数(2名)	日			288	300	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-		-	0.040	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	348,426	-	646,993	186	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	348,426	-	646,993	186	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	348,426	-	646,993	186	
	合計			-	348,426	-	646,993	186	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1園あたりの平均勤務日数							
指標説明(式)		FLT勤務日数÷6園							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
日	目標			-	48	-	50	104.2	
	実績			-	48	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

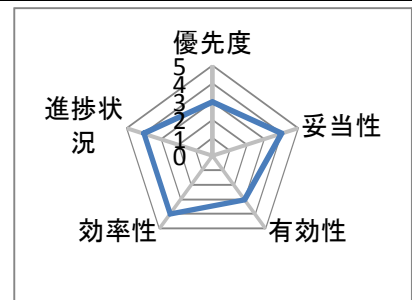
指標名1		児童1人あたりのコスト							
指標説明(式)		外国語指導助手派遣委託料額÷園児数(418名)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	17000	-	17850	105.0	
	実績			-	16440	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	中学校卒業までの期間で、話す・聞くなど実践型の生きた英語に親しみ、コミュニケーション能力を養う。	3
	成果の向上	園児・児童の実態を踏まえた長期的な目標に見合った指導の実現を目指す必要がある。	
効率性	手段の最適性	教育の効果を高めるために、幼稚園、小学校については同じ委託業者の講師が継続して指導にあたっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	FLTと学校園との連携体制の強化が求められる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	教職員に対する英語コミュニケーション研修を充実させる。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0102020200		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	ふれあいものづくり事業		予算事業名	ふれあいものづくり事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	北本 洋志
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童と高校生						
	誰(何)を対象として	小学校児童と高校生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童と高等学校生徒との協働してのものづくりにより、こころ豊かな人間形成を図り、高校生の指導力の向上及びものづくりを通して物の大切さ・想像力を育む。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校6年生が総合的な学習や理科等の授業時間に相生産業高等学校の生徒の指導を受けながら、ものづくりに挑む。							
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画			
	参加児童数	人	226	207	212	242			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.268	-	0.260	97	0.240	92	
	臨時職員		0.012	-	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	358,533	2,380,658	664	2,338,810	98	2,260,221	97	
	事業費		100,000	-	100,000	100	125,000	125	
	合計	358,533	2,480,658	692	2,438,810	98	2,385,221	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,533	2,480,658	692	2,438,810	98	2,385,221	98	
合計	358,533	2,480,658	692	2,438,810	98	2,385,221	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

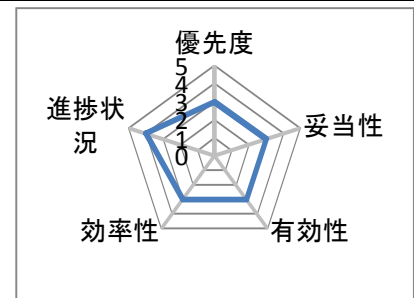
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童と高等学校生徒とのものづくりをととして、こころ豊かな人間形成を図った。	3
	期待する目標	子ども達自身に製作意欲を持たせ、高等学校生徒と協働してものづくりに取り組むことができた。	
効率性	コストの節減	製作コスト削減に努め、必要最低限の費用で実施した。	3
	手段の最適性	子ども達自身に製作意欲を持たせ、限られた時間の中で積極的に取り組めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ものづくりを通じた活動を生かして、こころ豊かな人間形成を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	協働してのものづくりについて、より効果的な取り組みを行う。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020300		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	小学校体験活動事業		予算事業名	小学校体験活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	北本 洋志
取組み事項		豊かな心の育成を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生						
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	参加数	人	453	436	482	449		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.268	0.152	57	0.152	100	0.144	95	
	臨時職員	0.012	0.020	167	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,464,157	1,532,898	62	1,545,886	101	1,523,973	99	
	事業費	6,620,000	6,570,000	99	6,620,000	101	6,570,000	99	
	合計	9,084,157	8,102,898	89	8,165,886	101	8,093,973	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		3,272,000	-	3,494,000	107	3,272,000	94	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,084,157	4,830,898	53	4,671,886	97	4,821,973	103	
合計	9,084,157	8,102,898	89	8,165,886	101	8,093,973	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

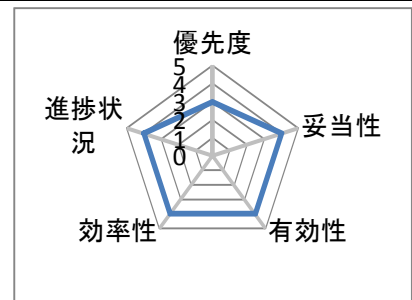
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14711	15069	102.4	13649	90.6	14633	107.2	
	実績	14614	15069	103.1	13737	91.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な事業計画・予算執行に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各校の状況に応じた予算配分を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020400	事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業	予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		担当者名	竹口 智哉	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	トライやるウィーク参加人数	人	220	222	213	200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.152	0.164	108	0.152	93	0.160	105	
	臨時職員	0.020	0.012	60	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,584,829	1,602,530	101	1,525,030	95	1,628,221	107	
	事業費	1,768,130	1,975,940	112	1,694,550	86	1,778,000	105	
	合計	3,352,959	3,578,470	107	3,219,580	90	3,406,221	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	900,000	1,050,000	117	900,000	86	900,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,352,959	2,528,470	75	2,319,580	92	2,506,221	108	
	合計	3,352,959	3,578,470	107	3,219,580	90	3,406,221	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(生徒)							
指標説明(式)		充実感を感じた者数÷生徒数(2年生)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	90	95	105.6	98	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

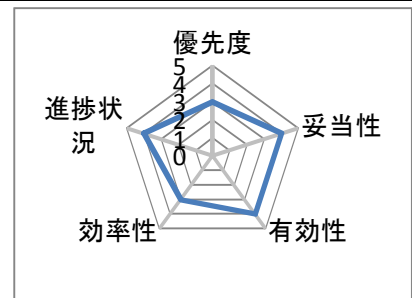
指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	70	116.7	70	100.0	
	実績	65	73	112.3	72	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の参画と協働を基盤に市民が一体となった教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	1週間の限られた期間内に成果があった。	3
	手段の最適性	短期間のため、安全面等考慮したものとしては、充分である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	生徒への指導及び保護者、地域への啓発活動



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	多様な職種の受け入れ事業所の確保。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020500		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	適応教室事業		予算事業名	適応教室事業	
優先度					優先度	3	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	教育相談	件	15	12	13	15
	ふれあい教室	回	6	6	6	6

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.172	0.008	5	0.016	200	0.040	250	
	臨時職員	0.012		0	0.840	-	0.423	50	
支出内訳	人件費	1,720,349	405,110	24	2,658,866	656	1,818,280	68	
	事業費	2,421,801	2,098,109	87	2,092,102	100	2,182,000	104	
	合計	4,142,150	2,503,219	60	4,750,968	190	4,000,280	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,142,150	2,503,219	60	4,750,968	190	4,000,280	84	
合計	4,142,150	2,503,219	60	4,750,968	190	4,000,280	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ふれあい教室活動								
指標説明(式)	年間活動回数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

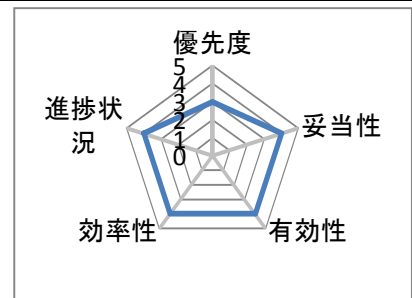
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者への理解と協力が得られた。	4
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を得た。	4
	手段の最適性	子どもの特徴に応じた悩み相談、勇気付け、ふれあい教室への参加等により、学校復帰を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	子どもへの対応は緊急を要し、より適確・的セスナ相談支援の実施が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	緊急措置の次のステップに進むため、より多くのこどもの学校復帰を目指す。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020600	事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	相生っ子かがやき顕彰事業	予算事業名	相生っ子かがやき顕彰事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		担当者名	竹口 智哉	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子かがやき顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	贈呈数	人・団体	5	13	6	10

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.128	1,600	0.108	84	0.108	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	420,517	1,302,950	310	1,162,206	89	1,184,193	102	
	事業費	14,300	30,000	210	10,800	36	60,000	556	
	合計	434,817	1,332,950	307	1,173,006	88	1,244,193	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	434,817	1,332,950	307	1,173,006	88	1,244,193	106	
合計	434,817	1,332,950	307	1,173,006	88	1,244,193	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	3
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる成績の優秀な個人又は団体の把握に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

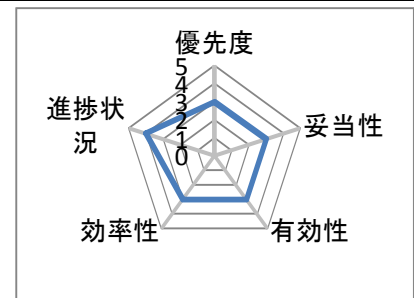
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる個人又は団体について、各小中学校から確実に推薦してもらえるよう周知する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	表彰対象者の確実な推薦について、各学校長へ依頼する。



配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020700		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業		予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	補助件数	件	16	16	16	19	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.120		0	0.096	-	0.096	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,288,293	345,254	27	1,071,786	310	1,089,393	102	
	事業費	4,799,544	4,622,278	96	4,623,341	100	4,200,000	91	
	合計	6,087,837	4,967,532	82	5,695,127	115	5,289,393	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,087,837	4,967,532	82	5,695,127	115	5,289,393	93	
合計	6,087,837	4,967,532	82	5,695,127	115	5,289,393	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数							
指標説明(式)		補助学校園数 ÷ 総学校園数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

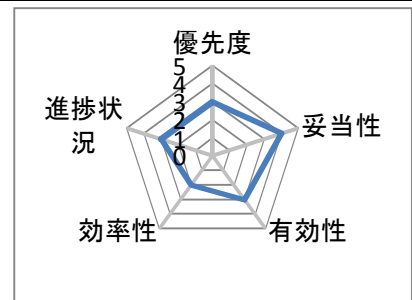
指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標		300000	-	300000	100.0	262500	87.5	
	実績	299972	288892	96.3	288959	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取り組みを行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図る。	3
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。	
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を実施するため、学校園単位に限らず広域的な事業の計画・実施を行う必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗しているが、より学校、地域に見合った計画への見直しを要する。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	学校区の特色をより明確にした事業の計画・実施について、各学校園での検討を要する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各中学校区(那波・双葉・矢野川)ごとに、幼小中が一体となったみんなの学校事業計画を立案してもらい、より地域性を明確にした事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	3		
年度	28	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子	
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	クラブ活動をとおり、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後クラブ活動をとおり、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.096	0.150	156	0.150	100	0.150	100	
	臨時職員	0.032		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,180,101	1,467,554	124	1,478,676	101	1,515,993	103	
	事業費	2,283,812	2,397,868	105	2,349,148	98	2,915,000	124	
	合計	3,463,913	3,865,422	112	3,827,824	99	4,430,993	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,463,913	3,865,422	112	3,827,824	99	4,430,993	116	
合計	3,463,913	3,865,422	112	3,827,824	99	4,430,993	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	クラブ活動をととして、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	4
	組織運営・適正管理	クラブにおいて組織体制が適正に運営された。	
効率性	コストの節減	保守委託、賃借契約等により、楽器等の購入費の削減が図れた。	4
	執行体制の効率性	吹奏楽部の活動を市の行事等で発表する場を増やすなど、効率的な活動の実施ができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	3

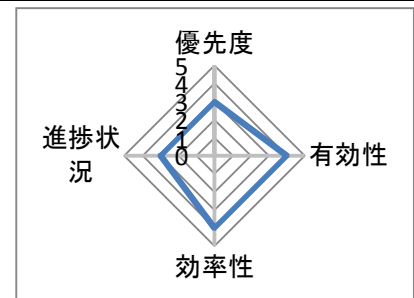
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	専門知識を持った指導者が不足している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	専門知識を持った指導者の確保に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030300		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業		予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業 優先度 2	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部、バレー部を招致し、協賛事業として実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	野球	チーム	15	15	15	15	
	バレー	チーム	57	56	56	55	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.150	0.144	96	0.144	100	0.144	100	
	臨時職員		0.012	-	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,520,733	1,452,890	96	1,464,750	101	1,501,821	103	
	事業費	733,500	735,900	100	725,900	99	751,000	103	
	合計	2,254,233	2,188,790	97	2,190,650	100	2,252,821	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		258,000	-	249,000	97	258,000	104	
	一般財源	2,254,233	1,930,790	86	1,941,650	101	1,994,821	103	
合計	2,254,233	2,188,790	97	2,190,650	100	2,252,821	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加校数							
指標説明(式)		中・西播磨中学校参加校による交流実績							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
校	目標	72	73	101.4	71	97.3	70	98.6	
	実績	72	71	98.6	71	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

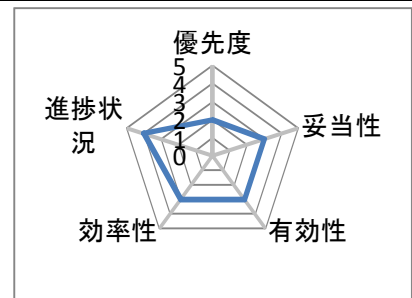
指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10361	10219	98.6	10577	103.5	10729	101.4	
	実績	10188	10365	101.7	10224	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町中学生との交流と普段の部活動の成果を発揮し、生徒の健全育成が図れた。	3
	市民サービス	近隣市町中学生との交流と生徒の健全育成が図れた。	
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を図れた。	3
	執行体制の効率性	試合会場を適正に確保し、運営することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	大会規模に対して運営するスタッフの減少が今後も見込まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	大会の廃止及び縮小を視野に入れた検討を行う。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030400	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	学校体育振興事業	予算事業名	学校体育振興事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	竹口 智哉
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒			
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.080	56	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,503,405	974,042	65	982,510	101	996,221	101	
	事業費	4,528,503	4,498,674	99	4,818,443	107	5,948,000	123	
	合計	6,031,908	5,472,716	91	5,800,953	106	6,944,221	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,031,908	5,472,716	91	5,800,953	106	6,944,221	120	
合計	6,031,908	5,472,716	91	5,800,953	106	6,944,221	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による普段の部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	22	22	100.0	12	54.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

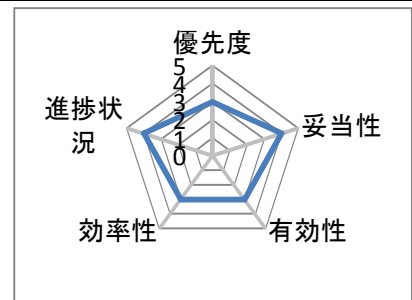
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	3
	市民サービス	健康づくり等の推進による児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	民間のバスを借上げる際の、利用行程や利用時間を精査し、賃借料の縮減を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	民間のバスを借上げる際の、利用行程や利用時間を精査し、賃借料の縮減を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	学校医等委嘱事業	予算事業名	学校医等委嘱事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員					
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.104	0.092	88	0.092	100	0.092	100	
	臨時職員	0.012	0.020	167	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,193,485	1,083,978	91	1,093,786	101	1,113,173	102	
	事業費	13,164,253	13,213,747	100	13,169,477	100	13,388,000	102	
	合計	14,357,738	14,297,725	100	14,263,263	100	14,501,173	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,357,738	14,297,725	100	14,263,263	100	14,501,173	102	
	合計	14,357,738	14,297,725	100	14,263,263	100	14,501,173	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

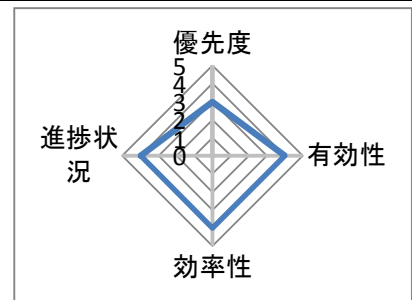
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校医が担当する学校園数や園児、児童、生徒数に偏りが見られる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各学校園の規模に応じた学校医等の適正配置に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1		
年度	28	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	木本 博子
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	園児・児童・生徒心臓等検診	件	4495	4486	4193	4848		
	教職員健康診断	人	194	213	234	235		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.092	0.048	52	0.096	200	0.096	100	
	臨時職員	0.020	0.246	1,230	0.247	100	0.242	98	
支出内訳	人件費	1,119,949	1,324,064	118	1,715,715	130	1,759,491	103	
	事業費	6,219,262	5,868,626	94	5,566,459	95	6,216,000	112	
	合計	7,339,211	7,192,690	98	7,282,174	101	7,975,491	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,339,211	7,192,690	98	7,282,174	101	7,975,491	110	
合計	7,339,211	7,192,690	98	7,282,174	101	7,975,491	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

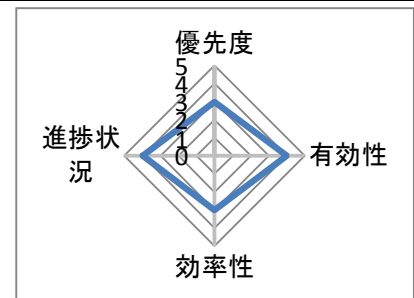
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	効果的に児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	健康診断等の効率的な実施に努め、学校現場の負担を軽減する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	学校健康センター事業	予算事業名	学校健康センター事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等					
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	加入数	人	2410	2432	2426	2348	
	給付実績	件	200	178	180	200	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.300	625	0.268	89	0.268	100	
	臨時職員	0.246	0.012	5	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,328,217	2,620,082	197	2,399,090	92	2,481,421	103	
	事業費	2,061,105	2,019,560	98	2,010,695	100	2,045,000	102	
	合計	3,389,322	4,639,642	137	4,409,785	95	4,526,421	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	984,790	-	1,002,000	102	
	一般財源	3,389,322	4,639,642	137	3,424,995	74	3,524,421	103	
合計	3,389,322	4,639,642	137	4,409,785	95	4,526,421	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		給付割合							
指標説明(式)		給付実績件数÷加入者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	8	8	100.0	8	100.0	8	100.0	
	実績	8	7	87.5	7	100.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を得ることができた。	
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

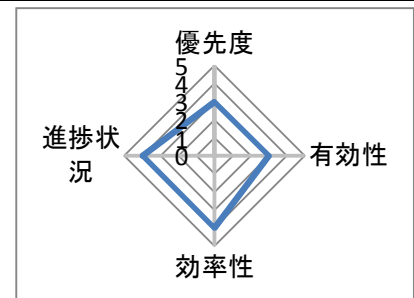
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	給付対象となる保護者への制度周知に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	学校園との事故情報の共有と、保護者への給付手続きの説明を適切に行う。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202040100	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	看護専門学校運営事業	予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛
取組み事項		地域医療に貢献できる人を育てる		担当者名	山口 猛
実施計画事業名				実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		保健師助産師看護師法及び学校教育法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生			
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	受験応募者数	人	281	269	267	250
	国家試験合格率	%	100	100	100	100

3 投入資源

会計区分 看護学校特別会計

事業費単位:円

インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	10.787	10.688	99	11.087	104	11.000	99	
	臨時職員	1.003	0.940	94	1.003	107	1.000	100	
支出内訳	人件費	86,373,499	82,680,730	96	86,503,792	105	89,999,993	104	
	事業費	19,119,614	100,929,592	528		0	97,600,000	-	
	合計	105,493,113	183,610,322	174	86,503,792	47	187,599,993	217	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	41,314,648	42,232,189	102	42,466,698	101	40,847,000	96	
	一般財源	64,178,465	141,378,133	220	44,037,094	31	146,752,993	333	
合計	105,493,113	183,610,322	174	86,503,792	47	187,599,993	217		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移							
指標説明(式)		合格者数 ÷ 受験者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2		看護師と准看護師の比率							
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	77	80	103.9	80	100.0	80	100.0	
	実績	70	70	100.0	70	100.0			

【効率性】

指標名1		学生一人当りコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	495392	512892	103.5	506225	98.7	472942	93.4	
	実績	470537	493255	104.8	486710	98.7			

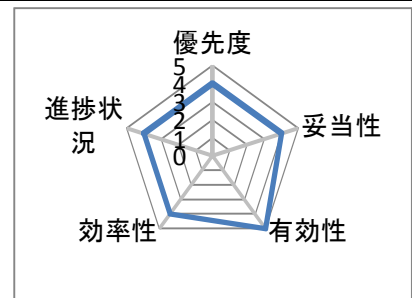
指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7967000	7703000	96.7	8696000	112.9	8653000	99.5	
	実績	6679850	7165452	107.3	7753154	108.2			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の出願者数は前年度を若干下回った。 また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、38名の卒業生全員が看護師国家試験に合格した。	5
	成果の向上	引続き進学説明会への出席や学校訪問に積極的に取り組み、学生の確保を図っていく。	
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費用及び実習用教材等の更新により総事業費は増加しているが、事務経費について節減及び効果的な執行に努めた。	4
	負担割合の適正化	使用料の見直し等については、近隣の学校の状況及び消費税率の改正等経済情勢、並びに校舎の更新時期を勘案しながら行いたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	教員体制の確立と安定的な運用に向けての継続的な検討。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	中・長期的な教員採用計画を検討・作成し、適切な時期に適格な教員採用を行う。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香	
取組み事項		充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	審議会開催数	回	1	3	1	1		

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.092	0.180	196	0.084	47	0.104	124	
	臨時職員	0.040	0.008	20		0		-	
支出内訳	人件費	1,168,549	1,712,166	147	981,366	57	1,152,593	117	
	事業費	39,000	114,300	293	38,500	34	121,000	314	
	合計	1,207,549	1,826,466	151	1,019,866	56	1,273,593	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,207,549	1,826,466	151	1,019,866	56	1,273,593	125	
	合計	1,207,549	1,826,466	151	1,019,866	56	1,273,593	125	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数							
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	570	570	100.0	570	100.0	570	100.0	
	実績	541	584	107.9	558	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	テニスやボクシング等のスポーツにおける知名度と様々な専門コースを設定することにより生徒数が増加している。	4
	成果目標(改善)達成度	学校としての定着がみられ、着実に生徒数が増加している。また、地域との連携についても学校新聞などの発行により努力が見られる。	
効率性	手段の最適性	廃校となった相生中学校を民間事業者による利活用ができていない点について、効率的と考える。	4
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知について、電子メールによる迅速な連絡を行うことで学校及び生徒への周知が効率的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	国からのガイドラインの提示があり、学校設置事業について見直すべき項目があったため、市としても指導を行っている。	3

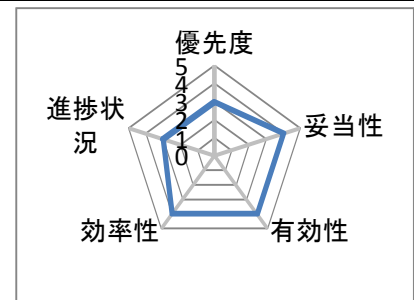
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	教育特区という特殊な環境での事業実施であり、市と学校が密に連携をとる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	様々な規制のなかで、適正な学校運営が行われているか観察、指導を行う。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	小学校管理事業		予算事業名	小学校管理事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各学校事務用コンピュータ更新		教職員用パソコン更新			
		小学校学習机更新事業		相生小学校河川法面危険樹木選定事業			
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設運営管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	学校数	校	7	7	7	7	
	児童数	人	1,360	1,356	1376	1416	
	学級数	クラス	70	70	70	74	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.349	0.349	100	0.392	112	0.392	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,548,585	3,460,272	98	3,823,546	110	3,981,593	104	
	事業費	73,063,228	46,269,844	63	55,300,833	120	53,182,000	96	
	合計	76,611,813	49,730,116	65	59,124,379	119	57,163,593	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	76,611,813	49,730,116	65	59,124,379	119	57,163,593	97	
合計	76,611,813	49,730,116	65	59,124,379	119	57,163,593	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／児童数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	60,679	37,442	61.7	41,864	111.8	40,370	96.4	
	実績	53,495	34,122	63.8	40,190	117.8			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／7校							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,2308,058	7,253,000	58.9	8,791,855	121.2	8166228	92.9	
	実績	10,393,170	7,104,302	68.4	8,446,340	118.9			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

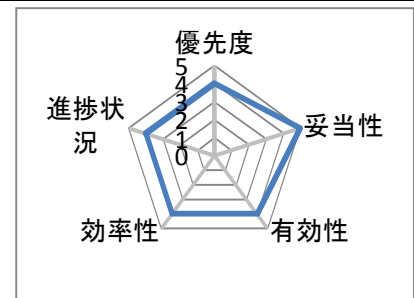
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	引き続き簡易修繕について、校長会等で、学校職員における対応・協力を求める。



配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	森田敏雄
取組み事項	教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名	通学用マイクロバス運行管理委託			各中学校事務用コンピュータ更新			
	中学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新			
根拠法規及び関連法規	相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設運営管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	学校数	校	3	3	3	3
	生徒数	人	706	662	639	621
	学級数	クラス	25	22	22	20

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.332	0.332	100	0.352	106	0.352	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.192	96	0.200	104	
支出内訳	人件費	3,416,869	3,333,078	98	3,501,290	105	3,665,593	105	
	事業費	24,470,554	23,629,834	97	27,664,390	117	35,195,000	127	
	合計	27,887,423	26,962,912	97	31,165,680	116	38,860,593	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	27,887,423	26,962,912	97	31,165,680	116	38,860,593	125	
合計	27,887,423	26,962,912	97	31,165,680	116	38,860,593	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／生徒数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38,918	37,469	96.3	48,365	129.1	56,675	117.2	
	実績	33,294	35,695	107.2	43,293	121.3			
指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／3校							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10,323,960	8,817,667	85.4	11,509,554	130.5	12,953,531	112.5	
	実績	8,156,852	8,987,637	110.2	10,388,560	115.6			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により学校現場より消耗品費等の増額要望の声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めている。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減少傾向にある。簡易な施設修繕については、学校職員が自主的に対応している。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

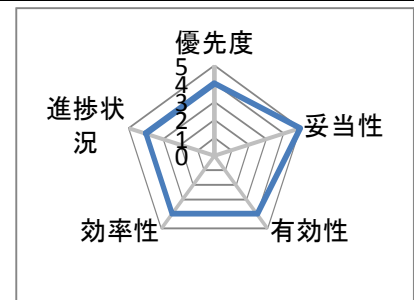
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点からも原材料費を執行し、学校職員における簡易修繕が有効的である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	引き続き簡易修繕について、校長会等で、学校職員における対応・協力を求める。



配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	森田敏雄
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新						
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	幼稚園数	園	6	6	6	6	
	園児数	人	420	421	418	385	
	クラス数	クラス	23	21	23	20	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.256	0.256	100	0.280	109	0.280	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.192	96	0.200	104	
支出内訳	人件費	2,828,021	2,764,446	98	2,958,770	107	3,096,793	105	
	事業費	9,562,449	9,333,894	98	9,228,355	99	11,178,000	121	
	合計	12,390,470	12,098,340	98	12,187,125	101	14,274,793	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,390,470	12,098,340	98	12,187,125	101	14,274,793	117	
合計	12,390,470	12,098,340	98	12,187,125	101	14,274,793	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10,896,000	10,946,000	100.5	10,238,000	93.5	11,178,000	109.2	
	実績	9,562,449	9,333,894	97.6	9,228,355	98.9			

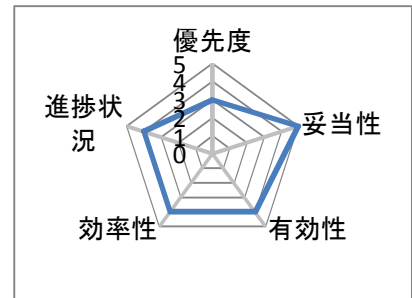
指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／6園							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,296,921	2,294,027	99.9	2,215,981	96.6	2,379,132	107.4	
	実績	2,065,079	2,016,390	97.6	2,031,188	100.7			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	幼稚園現場の協力により、経費削減については徹底している。施設の維持管理として、漏水の早期発見対策として、月3回程度メーター確認を行っており、早期対応に努めている。	4
	執行体制の効率性	幼稚園職員との連携強化により、より効率性を高めると考える。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	大型備品等について老朽化により修繕頻度が増加しつつある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	修繕に係る予算増額の検討が必要である。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010400		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	小学校施設整備事業		予算事業名	小学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		小学校その他工事			小学校施設整備			
		各小学校プールろ材入れ替え			小学校非構造部材耐震改修事業			
		矢野川小中学校整備事業			3小学校プールろ材入れ替え			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	維持修繕件数	件	68	43	65	65	
	工事請負件数	件	11	15	17	17	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.412	0.412	100	0.548	133	0.572	104	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.040	83	
支出内訳	人件費	3,667,349	3,548,750	97	4,602,742	130	4,960,553	108	
	事業費	289,012,947	275,077,834	95	20,960,028	8	41,335,000	197	
	合計	292,680,296	278,626,584	95	25,562,770	9	46,295,553	181	
財源内訳	国庫支出金	113,488,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	179,192,296	278,626,584	155	25,562,770	9	46,295,553	181	
	合計	292,680,296	278,626,584	95	25,562,770	9	46,295,553	181	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	88	100	113.6	100	100.0	100	100.0	
	実績	88	100	113.6	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

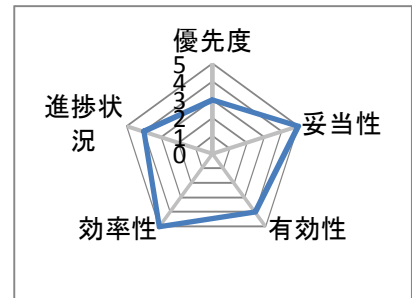
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化等により、緊急的な想定外の修繕が発生するため、工事及び維持修繕を計画どおり進めることが困難となる場合がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		中学校その他工事			中学校施設整備			
		各中学校ろ材入れ替え						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	維持修繕件数	件	33	34	40	40		
	工事請負件数	件	3	3	15	15		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.324	0.324	100	0.396	122	0.380	96	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.040	83	
支出内訳	人件費	2,985,525	2,890,334	97	3,457,422	120	3,443,753	100	
	事業費	17,959,579	16,302,944	91	17,955,290	110	16,972,000	95	
	合計	20,945,104	19,193,278	92	21,412,712	112	20,415,753	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,945,104	19,193,278	92	21,412,712	112	20,415,753	95	
合計	20,945,104	19,193,278	92	21,412,712	112	20,415,753	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

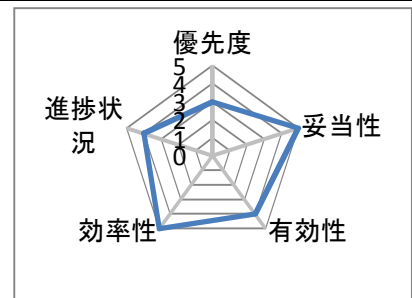
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化等による改修箇所が増加や突発的な緊急修繕により、計画通り進めることが困難であるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	生徒の安全を最優先に考え、その上で優先順位を持ち、改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010600		事業の種類	6		
年度	28	事務事業名	幼稚園施設整備事業		予算事業名	幼稚園施設整備事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正		担当者名	萩原達朗
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		幼稚園その他工事		幼稚園施設整備				
		幼稚園総合遊具等更新						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	維持修繕件数	件	16	11	21	21	
	工事請負件数	件	3	2	5	5	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.240	0.240	100	0.340	142	0.336	99	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.044	92	0.040	91	
支出内訳	人件費	2,334,693	2,261,846	97	3,025,034	134	3,096,153	102	
	事業費	2,396,250	4,901,040	205	7,317,846	149	8,800,000	120	
	合計	4,730,943	7,162,886	151	10,342,880	144	11,896,153	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,730,943	7,162,886	151	10,342,880	144	11,896,153	115	
合計	4,730,943	7,162,886	151	10,342,880	144	11,896,153	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

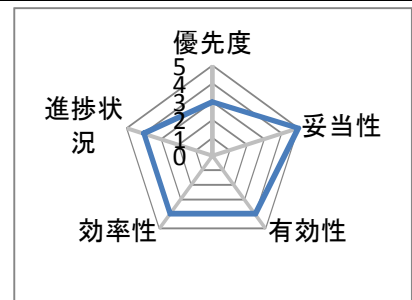
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	園児の安全性を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010700		事業の種類	2		
年度	28	事務事業名	学校教育施設整備基金事業		予算事業名	学校教育施設整備基金事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	萩原達朗	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設維持管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金						

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要な経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	積立額		1,962,150	1,962,666	1,963,138	1,961,643	
	基金総額		9,310,009	11,272,675	13,235,813	15,197,456	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.008	200	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	389,525	375,182	96	408,706	109	394,193	96	
	事業費	1,962,150	1,962,666	100	1,963,138	100	1,963,000	100	
	合計	2,351,675	2,337,848	99	2,371,844	101	2,357,193	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,351,675	2,337,848	99	2,371,844	101	2,357,193	99	
合計	2,351,675	2,337,848	99	2,371,844	101	2,357,193	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生学院高校の賃借料の額を待つて積み立てをおこなっているが、平成25年1月に財政課による賃料の見直しが行われた。見直しにより積み立ての必要はなくなったが、基金の設置目的を達成するため、継続して基金の積み立てを行った。	4
効率性	手段の最適性	相生学院への貸付料の額を積み立てている為、手段は最適である。平成25年度より土地分貸付料額の積み立てを継続している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		5

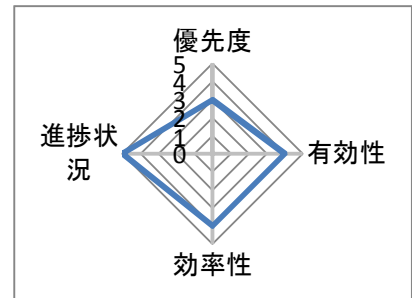
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正	担当者名	森田 敏雄
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		市奨学金基金条例、市奨学金支給規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高等学校へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費、交通費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	対象人員	人	30	34	37	36	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.116	94	0.124	107	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,319,285	1,273,022	96	1,222,486	96	1,310,593	107	
	事業費	1,401,000	1,132,000	81	980,000	87	1,701,000	174	
	合計	2,720,285	2,405,022	88	2,202,486	92	3,011,593	137	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,720,285	2,405,022	88	2,202,486	92	3,011,593	137	
合計	2,720,285	2,405,022	88	2,202,486	92	3,011,593	137		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨学生の申請者数と認定者数							
指標説明(式)		申請者数(目標)と認定者数(実績)による、ニーズと達成度。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	38	34	89.5	37	108.8	36	97.3	
	実績	30	28	93.3	28	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

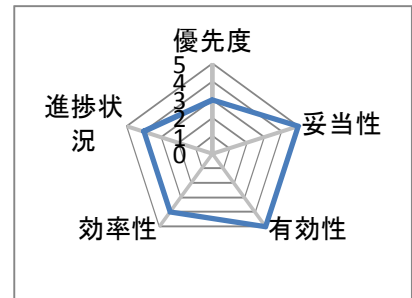
指標名1		奨学生の認定方法							
指標説明(式)		申請世帯の収入状況を示す生活点と成績点を考え合わせ、教育委員会で決定する。							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請者は増加傾向にある。平成24年度より予算額を増加し、認定基準を明確化したことにより、事業目的の達成度が高くなったと考える。	5
	市民サービス	高い認定率を確保し、本来必要とする者への支援を行えたことにより、サービスの向上が図れた。	
効率性	コストの節減	制度利用を必要とする者へ支援するコストを充実させることにより市民サービス度が向上する。	4
	手段の最適性	成績及び所得の観点から判断しており、認定者の選定的手段としては、適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現状の社会情勢等を意識しながら、支給基準等を判断していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	国、県の他の制度について、継続して動向を注視する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020200		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	対象(認定)人員	人	33	32	34	27	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.100	93	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,195,317	1,153,310	96	1,101,926	96	1,120,993	102	
	事業費	2,026,281	1,603,353	79	2,018,821	126	2,302,000	114	
	合計	3,221,598	2,756,663	86	3,120,747	113	3,422,993	110	
財源内訳	国庫支出金		14,000	-	28,000	200	14,000	50	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,221,598	2,742,663	85	3,092,747	113	3,408,993	110	
合計	3,221,598	2,756,663	86	3,120,747	113	3,422,993	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

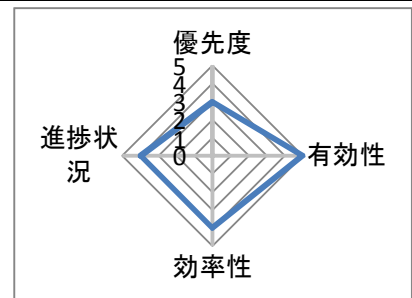
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020300		事業の種類	1	
年度	28	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	対象(認定)人員	人	43	31	24	27	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.100	93	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,195,317	1,153,310	96	1,101,926	96	1,120,993	102	
	事業費	4,099,666	3,306,102	81	2,532,454	77	3,436,000	136	
	合計	5,294,983	4,459,412	84	3,634,380	81	4,556,993	125	
財源内訳	国庫支出金			-	31,000	-	33,000	106	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,294,983	4,459,412	84	3,603,380	81	4,523,993	126	
合計	5,294,983	4,459,412	84	3,634,380	81	4,556,993	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

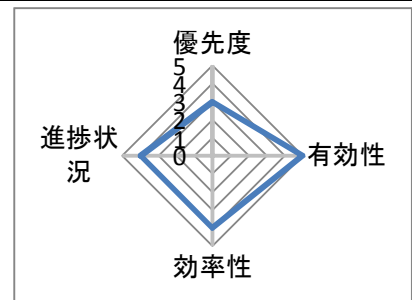
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020400	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	小学校通学費補助事業	予算事業名	小学校通学費補助事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正
取組み事項		教育の機会均等を確保する		担当者名	坪田泰典
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者			
	誰(何)を対象として	通学費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	対象人員	人	14	15	13	12

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.088	129	0.076	86	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	885,397	854,030	96	1,011,506	118	931,393	92	
	事業費	603,330	610,920	101	530,060	87	499,000	94	
	合計	1,488,727	1,464,950	98	1,541,566	105	1,430,393	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,488,727	1,464,950	98	1,541,566	105	1,430,393	93	
合計	1,488,727	1,464,950	98	1,541,566	105	1,430,393	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	16	18	112.5	13	72.2	12	92.3	
	実績	14	15	107.1	13	86.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

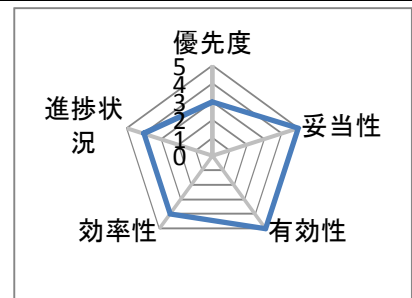
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標は達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からも、コスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	公共交通機関のない地区から通学する児童及び適応教室へ通学する児童への対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	公共交通機関のない地区へのタクシー利用による対応や、適応教室へ通学する児童への助成を実施する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020500	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	中学校通学費補助関係事業	予算事業名	中学校通学費補助関係事業
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	宮崎義正	担当者名
取組み事項		教育の機会均等を確保する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者			
	誰(何)を対象として	通学費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	対象人員	人	0	5	0	6

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.068	131	0.060	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	761,429	734,318	96	860,806	117	804,993	94	
	事業費	90,300	190,040	210	96,578	51	780,000	808	
	合計	851,729	924,358	109	957,384	104	1,584,993	166	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	851,729	924,358	109	957,384	104	1,584,993	166	
	合計	851,729	924,358	109	957,384	104	1,584,993	166	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	6	300.0	
	実績	0	6	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

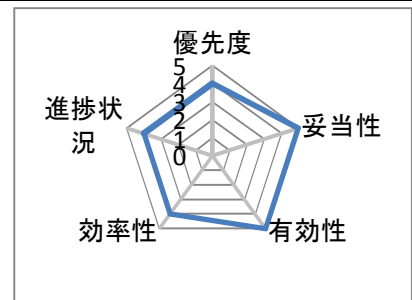
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標を達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からもコスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	適応教室へ通学する生徒への対応。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	適応教室へ通学する生徒への助成を実施する。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203030100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	教育研究所運営事業		予算事業名	教育研究所運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	木本 博子
取組み事項		子どものやる気を引き出す教職員を育成する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭						
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭						
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。						
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画		
	研修会開催	回	8	9	14	9		
	研修会開催	人	201	254	410	250		
	学校訪問指導	回	136	130	125	130		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.300		0	0.028	-	0.028	100	
	臨時職員	0.012		0	0.093	-	0.093	100	
支出内訳	人件費	2,712,093	345,254	13	801,857	232	809,710	101	
	事業費	2,721,005	4,024,119	148	3,109,575	77	4,693,000	151	
	合計	5,433,098	4,369,373	80	3,911,432	90	5,502,710	141	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,433,098	4,369,373	80	3,911,432	90	5,502,710	141	
合計	5,433,098	4,369,373	80	3,911,432	90	5,502,710	141		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	25	100.0	36	144.0	28	77.8	
	実績	25	28	112.0	29	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

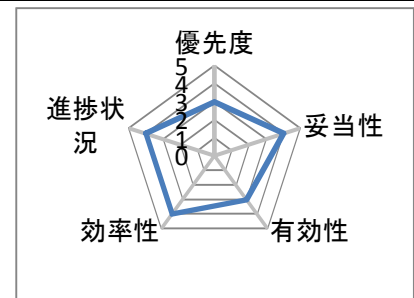
指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	25	25	100.0	36	144.0		0.0	
	実績	25	28	112.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効であった。	3
	市民サービス	教職員の資質向上による保護者等の市民ニーズにある程度貢献できた。	
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	4
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	より効果的な教職員の資質向上を図るため、研修テーマや受講対象教職員を精査する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教職員の資質向上のため、現代課題に向けた効果的な研修会の検討を行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040100		事業の種類	5		
年度	28	事務事業名	私立幼稚園補助事業		予算事業名			
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	三宅 淳一		担当者名	宮崎 良資
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校法人補助金交付規則、私立幼稚園補助金交付要綱、私立幼稚園助成補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	私立幼稚園就園児及びその保護者						
	誰(何)を対象として	私立幼稚園設置者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、幼稚園を選ぶ際に市民の選択肢が増え子育てを支援することになる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		私立幼稚園補助、私立幼稚園就園奨励補助					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	私立幼稚園在籍人数	人	70	0	0	0	
	私立幼稚園就園奨励対象人数	人	26	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円						
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	420,517	405,110	96	408,706	101	394,193	96
	事業費	1,768,000		0		-		-
	合計	2,188,517	405,110	19	408,706	101	394,193	96
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	0	-
	県支出金			-	0	-	0	-
	市債			-	0	-	0	-
	その他			-	0	-	0	-
	一般財源	2,188,517	405,110	19	408,706	101	394,193	96
	合計	2,188,517	405,110	19	408,706	101	394,193	96

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		私立幼稚園補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	95	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	70	0	0.0	0	-	-	-	
指標名2		私立幼稚園就園奨励補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	30	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	26	0	0.0	0	-	-	-	

【効率性】

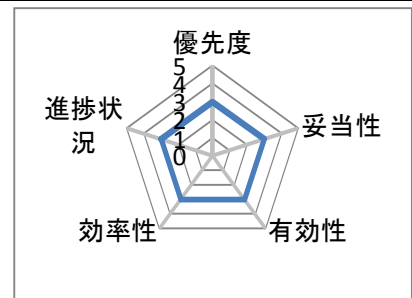
指標名1		園児1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/補助対象園児数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	27109	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	31265	0	0.0	0	-			
指標名2		補助金額(合計)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1237000	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1068000	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、私立幼稚園が健全な経営をすることにより、市民の選択肢が増えることが成果と考える。	3
	市民サービス	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため有効である。	
効率性	負担割合の適正化	H20年4月から補助単価の見直しを行った。私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考え。	3
	手段の最適性	私立学校振興助成法に基づく助成であり、国の制度及び近隣市町とのバランスからも最適であると考え。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き施策を実施していく	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考え。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、補助対象事業者はなくなったが、必要な補助基準等の規定は整備しておく必要がある。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010203040800		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	預かり保育事業	優先度	3	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者				
	誰(何)を対象として	希望する園児				
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動				

2 事業の概要 Do

実施の概要	希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、16時30分まで延長して教育活動を実施する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	月平均利用者数	人	70	71	85	90

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.108	100	0.108	100
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	1,195,317	1,153,310	96	1,162,206	101	1,184,193	102
	事業費	569,066	541,959	95	553,858	102	573,000	103
	合計	1,764,383	1,695,269	96	1,716,064	101	1,757,193	102
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,764,383	1,695,269	96	1,716,064	101	1,757,193	102
合計	1,764,383	1,695,269	96	1,716,064	101	1,757,193	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	月平均利用者数								
指標説明(式)	全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数								
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	70	87.5	70	100.0	90	128.6	
	実績	70	71	101.4	85	119.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

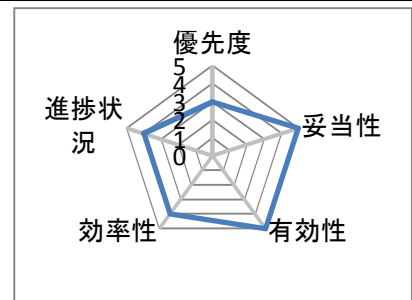
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額/利用者数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	79,190	91926	116.1	25044	27.2	19524	78.0	
	実績	91926	23877	26.0	20188	84.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	サービス利用者が増加傾向にある。また、保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、成果目標は達成している。	5
	市民サービス	利用者が増加傾向にあることからサービス度は高い。	
効率性	コストの節減	保育料とは別に教材費及びおやつ代を徴収しており、その費用を上手く活用し、運営している。消耗品費については、教育活動を行うための最小限の予算計上としている。	4
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の下、事業運営している。利用者数に応じた指導員を状況により迅速に確保する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	職員の負担軽減の観点からも、状況を迅速に把握し対応するため、代替支援員を確保する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	代替の職員を確保し、支援員の休暇や緊急時の迅速な対応ができる体制を整える。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040900		事業の種類	4	
年度	28	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業		予算事業名		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎義正	担当者名	坪田泰典
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児					
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	
	園児数(5月1日現在)	人	420	421	418	385	
	就園率	%	60.0	59.2	58.2	54.2	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.008	200	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	389,525	375,182	96	408,706	109	394,193	96	
	事業費		123,120	-		0		-	
	合計	389,525	498,302	128	408,706	82	394,193	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	389,525	498,302	128	408,706	82	394,193	96	
合計	389,525	498,302	128	408,706	82	394,193	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市立幼稚園園児数							
指標説明(式)		5月1日現在の全6園総園児数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
人	目標	420	409	97.4	418	102.2	385	92.1	
	実績	420	421	100.2	418	99.3			
指標名2		保育料無料化相当額							
指標説明(式)		市内に住所を有する園児に係る無料化相当額							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30,084,000	29,016,000	96.4	29,520,000	101.7	27,216,000	92.2	
	実績	29,520,000	29,388,000	99.6	29,586,000	100.7			

【効率性】

指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴収件数							
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
件	目標	11	6	54.5	6	100.0	7	116.7	
	実績	10	4	40.0	15	375.0			

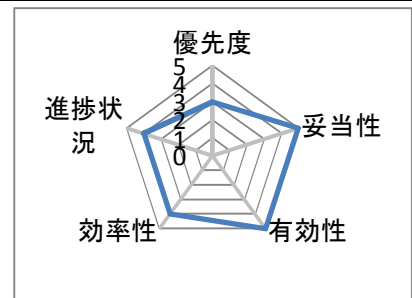
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	3年保育を実施しており、市外からの通園者も多くある。市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、これは、家庭の世帯構成等により、幼児が通う施設の棲み分けが出来ているからであると判断している。	5
	市民サービス	月額6,000円であった保育料を無料としたことで、子育て世帯の経費負担の軽減が図れた。	
効率性	手段の最適性	市内通園者の月額保育料6,000円を無料としているが、市外通園者は子ども子育て支援新制度の元、保護者が居住する市町により定められた月額保育料を徴収している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	公立幼稚園の保育料無料化が定着してきており、事業目的からも継続して実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	引き続き広く周知を行うとともに、事業を継続していく。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041000	事業の種類	4
年度	28	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業	予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣	担当者名
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童			
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童			
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画
	実施回数	回	15	18	18	20

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.027	0.026	96	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.192	-	0.184	96	0.184	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	358,533	1,781,798	497	1,734,866	97	1,784,593	103	
	事業費	117,840	123,120	104	144,504	117	193,000	134	
	合計	476,373	1,904,918	400	1,879,370	99	1,977,593	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	476,373	1,904,918	400	1,879,370	99	1,977,593	105	
合計	476,373	1,904,918	400	1,879,370	99	1,977,593	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

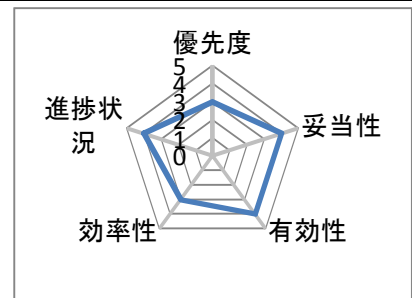
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化を図った。	4
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業を計画・実施する。	3
	コストの節減	参加人数を考慮のうえ、公用車や市所有マイクロバスを使用することで、バス賃借料の縮減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	バス配車計画に記載される移動行程を精査することで、バス賃借料の縮減に繋げる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	バス配車計画に記載される移動行程を精査することで、バス賃借料の縮減に繋げる。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041100		事業の種類	4		
年度	28	事務事業名	相生市小中一貫教育推進事業		予算事業名	相生市小中一貫教育推進事業 優先度 4		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課				
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	坂本 浩宣		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒						
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		一貫性を持った教育推進に向けた、研究会の実施及び先進地等の視察を検討する。					
活動実績	項目	単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度計画	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		26年度決算	27年度決算	前年比	28年度決算	前年比	29年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.026	100	0.027	104	
	参事以下職員		0.108	-	0.148	137	0.148	100	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	0.008	200	
支出内訳	人件費		1,163,386	-	1,474,034	127	1,522,345	103	
	事業費		96,560	-	35,000	36	146,000	417	
	合計		1,259,946	-	1,509,034	120	1,668,345	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,259,946	-	1,509,034	120	1,668,345	111	
合計		1,259,946	-	1,509,034	120	1,668,345	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

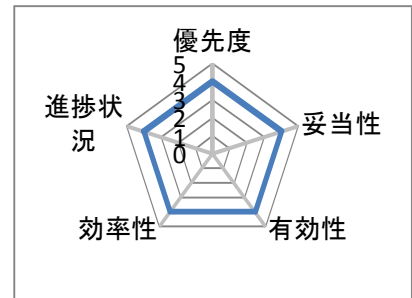
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	26年度	27年度	前年比	28年度	前年比	29年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(28年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを進めた。	4
	成果の向上	中学校区ごとに「めざす子ども像」を明確にし、共通指導項目に沿った指導を行った。	
効率性	手段の最適性	幼・小・中学校の連携体制を構築するための、先進事例等を研究し、リーフレットを作成した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	幼稚園を含めた連携体制の強化に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた29年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各校区の特色を明確にした事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	26